



(題字 瀧澤 弘 学長)

第454号
(平成14年10月号)

10月のトピックス

◇ 16日 アメリカ合衆国ケンタッキー州西部マーレイ地区教員が来学



△団長のトム・ロー マーレイ州立大学助教授から瀧澤学長への記念品の贈呈



△塚野教育学部長からトム・ロー助教授への記念品の贈呈

目 次

関 係 法 令	3
諸 会 議	3
学 事	
◆ 再編・統合⑮～⑯	4
◆ 平成14年度科学研究費補助金交付決定者一覧	6
人 事 異 動	7
学 内 諸 報	
◆ 留学生センター外国人留学生日本語研修コース（第6期）修了式を開催	8
◆ 全国生涯学習フェスティバル「まなびピア石川2002」に参加	8
◆ 富山地域留学生交流事業「富山の自然探訪」に参加	9
◆ フルブライトメモリアル基金（F M F）のアメリカ合衆国教員が来学	9
◆ 経済学部「経営学特殊講義（経営創造論）」を開講	10
◆ アメリカ合衆国ケンタッキー州西部マーレイ地区教員が来学	11
◆ 第3回極東地域研究セミナーを開催	11
◆ 富山・石川両県の高等学校長との懇談会を開催	12
◆ 教育学部と附属学校園による共同研究発表会を開催	12
◆ 平成14年度全国公務員レクリエーション共同事業富山地区ソフトボール大会で本学チームが優勝	13
◆ 学内レクリエーション	
◇ 釣り大会を開催	13
◇ 立山・室堂秋の散策	14
◇ 硬式庭球大会を開催	14
◇ バドミントン大会を開催	15
◆ 海外渡航者	15
◆ 表彰	16
主 要 行 事	16
訂 正	19

関 係 法 令

(省 令)

- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令（文部科学40）（平成14. 10. 1 官報号外第214号）
- 国立大学の学科及び課程に関する省令の一部を改正する省令（同41）（同）
- 教育公務員特例法施行令第1条の規定に基づき大学院に置かれる研究科の長を定める省令の一部を改正する省令（同42）（同）

(規 則)

- 人事院規則9-6（俸給の調整額）の一部を改正する人事院規則（人事院9-6-46）（平成14. 10. 1 官報第3457号）
- 人事院規則9-17（俸給の特別調整額）の一部を改正する人事院規則（同9-17-89）（同）
- 人事院規則9-30（特殊勤務手当）の一部を改正する人事院規則（同9-30-47）（同）
- 人事院規則16-0（職員の災害補償）の一部を改正する人事院規則（同16-0-34）（同）
- 人事院規則9-55（特勤勤務手当等）の一部を改正する

る人事院規則（同9-55-62）（平成14. 10. 31官報第3478号）

(政 令)

- 教育公務員特例法施行令の一部を改正する政令（303）（平成14. 10. 2 官報第3458号）

(告 示)

- 大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定第21号の規定に基づき、既に指定したものの廃止を行う件（文部科学185）（平成14. 10. 1 官報号外第214号）
- 大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定第21号の規定に基づき、新たに指定を行う件（同186）（同）
- 大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定第21号の規定に基づき、既に指定したものの名称変更を行う件（同187）（同）
- 短期大学の位置を変更する件（同188）（平成14. 10. 8 官報第3462号）

諸 会 議

入学試験実施委員会（10月1日）

（審議事項）

- (1) 平成15年度入学試験の電算処理に伴う仕様書について
- (2) 平成15年度富山大学学生募集要項（私費外国人留学生選抜）（案）について

組織運営体制の整備に関する検討委員会（10月16日）

（審議事項）

- (1) 新しい評価体制について

学生生活委員会（10月16日）

（審議事項）

- (1) 学生団体からの要求書について
- (2) 学寮の改修について

部局長会議（10月18日）

- (1) 学生の除籍について
- (2) 文部科学省在外研究員候補者（短期在外研究員）の推薦について

評議会（10月18日）

（審議事項）

- (1) 学長補佐の設置について
- (2) 名誉博士の称号授与について

入学試験実施委員会と入学試験実施委員会電算処理検討専門委員会との合同委員会（10月30日）

（審議事項）

- (1) 平成15年度入学試験の電算処理に伴う仕様書等について

入学試験実施委員会（10月30日）

（審議事項）

- (1) 平成15年度富山大学特別選抜実施要項（案）について
- (2) 平成15年度大学入試センター試験富山大学試験場の分担について

学

事

再 編 ・ 統 合 ⑮ ～ ⑯

本学学内広報紙「富大速報」第17号及び第18号に標記の記事が次のとおり掲載されました。

○富大速報第17号 『再編・統合⑮』

第7回新大学構想協議会議事報告

○第7回新大学構想協議会が平成14年9月25日（水）に富山大学において開催されました。

この協議会の議事概要は、以下のとおりです。

瀧澤学長から開会の挨拶があった後、会場大学議長である風巻副学長の司会の下、議事が進められた。

議事に先立ち、高久学長から医薬大の委員の交替について紹介があり、次いで、オブザーバーとして出席されている各大学の運営諮問会議委員について、当該学長から紹介の後、議長から、富山県関係からのオブザーバー出席について紹介があった。

また、議長から、8月30日（金）に開催した説明会の参加状況の報告並びに協力に対して謝辞が述べられた。

[議 事]

1. 議事要録の確認

第6回協議会（7月29日開催）の議事要録が確認された。

2. 新大学構想について

(1) 管理運営体制について（継続）

3大学長から、各大学が構想している学群に関する考え方について改めて説明の後、種々意見交換があり、学群の組織、役割等具体的な内容については、今後検討することとした。

(2) 大学院構想について

倉石学部長から、富山医科薬科大学と富山大学との2大学間で検討してきた生命科学に関連分野を融合した大学院構想について、その検討状況等について報告があり、また、龍山学部長から、山梨大学と山梨医科大学で構想された大学院設置計画の概要について報告があった。

次いで、議長から、前回協議会で設置が認められた大学院WGの検討範囲及び構成について諮られ、協議の結果、検討範囲は、生命科学に関連分野を含めたものとし、また、構成は、高岡短期大学1名、富山医科



薬科大学及び富山大学各7名とし、構成員が決定次第、大学院WGを開催することとした。

(3) 教養教育WGにおける検討状況について

水島副学長から、9月17日(火)に開催された教養教育WGの検討結果について、資料に基づき報告があった。

3. 今後の検討の進め方について

議長から、今後の検討の進め方について諮られ、各大学とも他大学との構想の違いの幅を狭めるような努力が必要である旨の提案があり、これを踏まえ、次回協議会の協議事項の一つは「学部編成について」とし、その他は議長団で協議することとした。

4. その他

(1) 報道機関への対応について

今回の協議会の報道機関への対応については、会場大学である富山大学が行うことを確認した。

(2) 次回協議会について

次回協議会は富山医科薬科大学で開催することとなっており、開催日時等詳細については議長団で協議し、決定することとした。

以 上

○富大速報第18号 『再編・統合⑩』

第8回新大学構想協議会議事報告

○第8回新大学構想協議会が平成14年10月22日(火)に富山医科薬科大学において開催されました。

この協議会の議事概要は、以下のとおりです。

高久学長から挨拶があった後、会場大学議長である竹口副学長の司会の下、議事が進められた。

議事に先立ち、瀧澤学長から富山大学の委員の交替について紹介があり、次いでオブザーバーとして出席されている各大学の運営諮問会議委員について当該学長から紹介の後、議長から富山県からのオブザーバー出席者について紹介があった。

[議 事]

1. 議事要録の確認

第7回協議会(9月25日開催)の議事要録が確認された。

2. 再編・統合について

(1) 教養教育WGの検討状況について

水島副学長から10月7日開催の教養教育WGの概要について報告があった。

(2) 学部編成について

新大学における学部編成等について資料に基づき、まず富山大学の塩澤副学長から、次いで高岡短期大学の水島副学長から、続いて富山医科薬科大学の倉知医学部長、寺澤副学長、倉石薬学部長及び高久学長からそれぞれ説明があり、その後、富山大学の「ビジネススクール」構想、富山医科薬科大学の「生命環境学部」

構想等について質疑応答があった。

3. その他

(1) 次回協議会について

議長から、今後の検討の進め方について諮られ、種々意見交換があった。次回協議会は富山大学での開催となっており、議題については議長団で協議し、開催日時等の詳細については事務局で調整することとした。

(2) 報道対応について

高久学長から、協議会終了後の報道対応について、各大学の真意を十分に伝えるため議長団で対応することとしたい旨の提案があり、種々意見交換の後、必要があれば当該大学が同席することとした。

(3) 運営諮問会議委員からの発言について

柳田委員及び南日委員から、協議の進め方等について発言があった。

以 上

平成14年度科学研究費補助金交付決定者一覧

研究種目	研究代表者			研 究 課 題	交付決定額	配 分 予 定 額		
	所 属	職	氏 名		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
基礎研究(C) (2)	理学部	教 授	吉田 範夫	微分方程式の解の振動に関する定性的理論	千円 1,600	千円 1,200	千円	千円
”	理学部	教 授	樋口 弘行	ピチオフェン成分により制御する拡張ポルフィリン誘導体の電子物性に関する研究	1,600	1,300		

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採用	14.10.7	山田 知訓		事務補佐員（経済学部）
昇 任	14.10.1	森賀 一恵	助 手 京都大学 人文科学研究所附属漢字情報研究センター	助教授 人文学部（言語文化学科日本東洋言語文化講座）
	"	柳井 雅也	助教授 経済学部（経済学科比較経済論講座）	教 授 経済学部（経済学科比較経済論講座）
	"	渡邊 了	助 手 理学部（地球科学科地球圏物理学講座）	助教授 理学部（地球科学科地球ダイナミクス講座）
転 任	14.10.1	東田 雅博	教 授 人文学部（人文学科歴史文化講座）	教 授 金沢大学 文学部
	"	小野 理恵	助教授 経済学部（経営学科管理科学講座）	助教授 千葉大学 法経学部
	"	黒崎 直	独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所文化遺産研究部長	教 授 人文学部（国際文化学科文化環境論講座）
	"	竹地 潔	助教授 宮崎大学 教育文化学部	助教授 経済学部（経営法学科企業関係法講座）
配 置 換	14.10.16	通山 正年	経理部長	鹿児島大学経理部長
	"	吉田 光則	北海道教育大学経理部長	経理部長
任用更新	14.10.1	高田 修	臨時用務員（工学部作業員）	任用更新（～15.3.31）
	"	藤井 友美	事務補佐員（総合情報処理センター）	"（"）
併 任	14.10.1	古田 俊吉	教 授 経済学部	極東地域研究センター長（～16.9.30）
併任解除	14.10.1	丹羽 昇	極東地域研究センター長	併任解除

学 内 諸 報

留学生センター外国人留学生日本語研修コース（第6期）修了式を開催

留学生センター外国人留学生日本語研修コース（第6期）の修了式が9月18日（火）事務局大会議室で開催され、大学院生3名及び研究生4名計9名が出席しました。

式では、小島 満留学生センター長から留学生一人一人に修了証書が授与され、式辞が述べられた後、瀧澤学長から「6ヶ月で皆さんの日本語の力は着実に伸びたと思います。これからも頑張って下さい。」と祝辞がありました。これに対して、留学生代表として、バヤラー・オーガンツェツェングさん（モンゴル）から「日本語だけでなく、コンピューターや日本の文化についても学び、日本人と交流する機会もたくさんあった。これからコースで学んだことを生かして専門の研究をがんばりたい。」と謝辞がありました。

また、修了式終了後には学長、副学長、留学生センター

長、事務局長及び指導教官や関係教職員と留学生が記念撮影を行いました。



全国生涯学習フェスティバル「まなびピア石川2002」に参加

平成14年10月10日（木）から14日（月）までの5日間、石川県金沢市を中心に第14回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア石川2002」が開催され、そのうちの「生涯学習見本市」に、本学から生涯学習教育研究センターが中心となって出展しました。

会場となった石川県産業展示館には、団体・企業・行政機関等から約150のブースが設置され、学習情報、学習活動の成果や実践例などの展示及び発表が行われました。

本学のブースでは、公開講座の取り組みや生涯学習・大学開放事業関係のパネル展示、工学部蓮覚寺教授の共同研究の成果パネル展示や製品展示、入学・就職・進学状況等のパネル展示やビデオによる大学紹介を行った他、本学職員が来訪者からの質問への対応や、広報誌等を配布していました。



富山地域留学生交流事業「富山の自然探訪」に参加

10月12日（土）に、富山県留学生等交流推進会議主催の富山地域留学生交流事業「富山の自然探訪」が、財団法人中島記念国際交流財団の協力を得て実施されました。本学からは71名の留学生が参加して他校の留学生と交流を深めたり、富山の自然を探訪する等楽しい一日を過ごしました。

この事業は、これまで富山地域全体としての留学生交流事業があまりなかったことから、県内の留学生間の交流と親睦を図るとともに、富山の自然等を見学することにより、異文化を理解させることを目的として行われたものです。

当日は秋晴れの素晴らしい天候に恵まれ、富山工業高等専門学校体育館で行われた自己紹介を含めた「交流会」や紅葉の始まった立山の「称名滝」や「立山カルデラ博物館」の見学に158名が参加しました。

なお、参加機関は次のとおりです。

富山大学、富山医科薬科大学、富山県立大学、

高岡法科大学、富山国際大学、高岡短期大学、
富山短期大学、富山工業高等専門学校、
富山商船高等専門学校



フルブライトメモリアル基金（FMF）のアメリカ合衆国教員が来学

10月15日（火）にフルブライトメモリアル基金（FMF）の「教育プログラム」として、アメリカ合衆国の教員20名が本学を訪問しました。

この「教育プログラム」は同国の故フルブライト上院議員が提唱したフルブライト交流計画に源を発し、現在は日米教育委員会が事業の一環として行っているものです。毎年アメリカ合衆国の多数の教育関係者が日本の教育現場を視察し、関係者との交流を深め、ホームステイ等を通じて文化・社会についても学ぶ機会を得ており、これまで多くの方が同プログラムにより来日して、帰国後全米各地で様々な日本関連の教育プログラムを展開しています。

一行は富山市内の学校視察の途中来学したもので、学長を表敬訪問後、教育学部教官との懇談会に出席し、教員養成に関する役割と現状（教官数や学生数、授業内容等）及び今後の課題について活発に意見交換が行われました。

また、本学学生との交流も行なわれ、和やかに懇談していました。



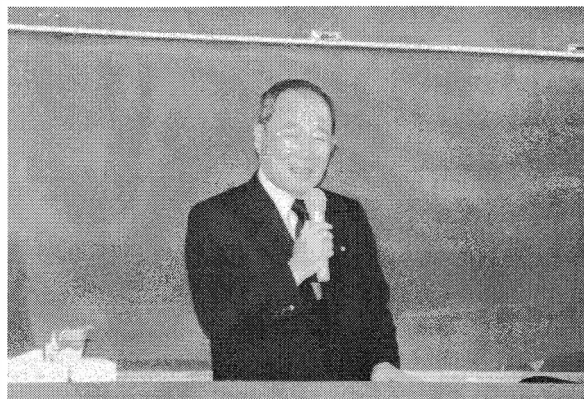
△本学教官との懇談会で自己紹介する米国教員

経済学部「経営学特殊講義（経営創造論）」を開講

経済学部卒業生で県内経済界などで活躍する方々を講師に招き、実践的・体験的経営論を習得し、近未来の企業経営と組織行動のあり方を探求する「経営学特殊講義（経営創造論）」が開設され、東 宗幸 北電産業（株）社長が10月16日（水）に第1回講義を行いました。

東社長は、「公益事業経営の戦略と課題」をテーマに、実社会における経験と実績をもとに、日頃企業経営について考えていることや今日の課題について、わかりやすく、かつ熱心に講義されました。

同講義の講師及びテーマは以下の表のとおりです。



△「公益事業経営の戦略と課題」をテーマに講義を行う東社長

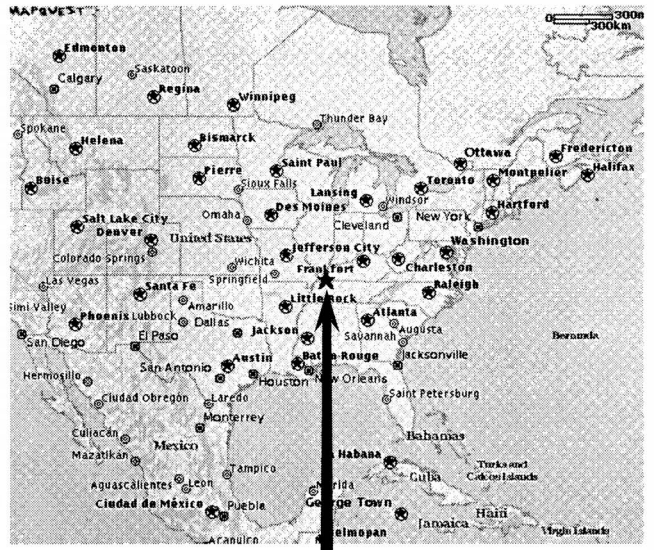
回	講 師	現 職	テーマ
第1回	東 宗幸	北電産業（株）社長	公益事業経営の戦略と課題
第2回	小川 弘	元（株）北陸銀行専務取締役	金融再編と今日の銀行経営
第3回	稲垣 俊吉	北陸経済連合会専門部長	北陸企業の経営課題
第4回	余川 外次	元三菱電機ロジスティクス（株）常務取締役	自動車産業の現状と課題
第5回	橋本 清	富山県文化振興財団副理事長	地方分権と地方自治
第6回	内山 俊彦	公認会計士	会計ビックバンと企業経営
第7回	濱谷元一郎	富山商工会議所専務理事	地域振興と富山県企業
第8回	赤祖父清義	元YKK（株）常務取締役	マーケットのグローバル化と企業の取り組み
第9回	中尾 哲雄	（株）インテック社長	I T革命とわが社の経営戦略
第10回	パネルディスカッション		

アメリカ合衆国ケンタッキー州西部マーレイ地区 教員が来学

10月16日（水）に本学教育学部と学部間交流協定を結んでいるアメリカ合衆国ケンタッキー州マーレイ州立大学教育学部のトム・ロー助教授を団長とする教員11名が来学し、瀧澤学長への表敬訪問や教育学部教職員と交流を行いました。

一行は、マーレイ州立大学大学院で学ぶ現職の小・中学校教員で、同大学のトム・ロー助教授と本学教育学部の山西潤一教授が平成11年度から実施している国際共同研究プロジェクトの一環として来日したものであり、10月24日（木）まで富山県内各地の学校に滞在して、総合的な学習や情報技術などを利用した教育方法改善について研究しました。

また、マーレイ州立大学と本学を高速通信回線で結んだテレビ会議システムによる遠隔授業も実施されました。



アメリカ合衆国ケンタッキー州マーレイ

第3回極東地域研究セミナーを開催

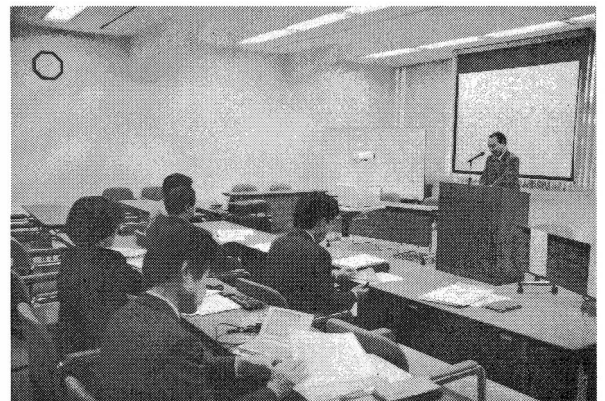
10月17日（木）に黒田講堂において、「北東アジアにおける穀物需給構造」をテーマとした極東地域研究センター主催「第3回極東地域研究セミナー」が開催されました。

今日、北東アジア地域の発展と安定化にとって、食糧需給の安定化はその重要な一環をなしていますが、アジアの飼料穀物の需要が急増する中で、日本と韓国は世界でも屈指の輸入国であり、中国は輸出と同時に輸入も行っています。特にWTO（世界貿易機関）加盟後の中国の動向は、世界の飼料穀物需給にも影響を考えられます。

セミナーでは、これら諸国の飼料穀物の貿易・国内流通制度、インフラ、関連企業の現状、変遷過程及び流通コスト等から見た中国飼料穀物の競争力等について、日本、中国及び韓国の研究者4名が講演しました。

また、その後、前記4名にコメンテーターとして伊東正一 鳥取大学農学部助教授が加わり、パネルディスカッションが行われました。

講 師	現 職
酒井 富夫	富山大学極東地域研究センター 教授
金 秦坤	韓国農村経済研究院 研究委員
武 拉平	中国農業大学 助教授（富山大学極東地域研究センター 研究機関研究員）
郭 慶海	中国吉林農業大学副学長（教授）



△講演する金 秦坤 韓国農村経済研究院 研究委員

富山・石川両県の高専校長との懇談会を開催

10月25日（金）に平成14年度高専校長協会と本学との懇談会が開催されました。

この懇談会は、高等学校と大学との接点である大学入試を中心として、それぞれの教育の現状や問題点について意見交換を行い、相互理解を深めることを目的として、毎年開催されているものです。

今回の懇談会には、富山県内から25校、石川県内から18校の高専校長及び富山県教育委員会関係者2名の計55名と、本学から瀧澤学長、塩澤副学長及び各学部長が出席しました。

会議では、瀧澤学長から、富山県高専校長協会に対し、今年度実施した一般選抜入試問題を評価していただいたことへの謝意や3大学の再編・統合に向けての検討状況及び独立行政法人化についての報告があった後、吉川 富山県高専校長協会長の挨拶、塩澤副学長からの大学概要の説明及び各学部長等から近況説明が行われました。

その後、「高等学校と大学の連携について」及び「A〇入試（調査書や評定平均値、あるいは学力試験によらない入試方式）について」を議題に活発な意見交換が行

われ、高等学校側から今後参考となる意見も出され、実り多い懇談会となりました。



教育学部と附属学校園共同研究発表会を開催

『自己』を『切り拓く』子どもを目指して－学校バリアフリーへの挑戦－をテーマとした教育学部と附属学校4校園共同研究発表会が10月29日（火）に開催され、教育学部教官と附属学校教諭がアイデアを出し合って進めてきた授業や研究の成果が紹介されました。

会場となった附属学校には県内外の教員や学生等約400人が参加し、午前中には31の授業が公開され、附属小学校5年生と附属中学校2年生が合同で国語の説明文を読み解く授業や、附属養護学校教諭と教育学部教官のチームティーチングによる附属小学校5年生の保健の授業等が行われました。また、午後からはシンポジウムが開催され、シンポジストとして招かれた国立教育政策研究所教育課程研究センターの工藤文三 統括研究官や麻島裕之 富山県教育委員会指導課主幹ら4人が、大学と附属学校の連携の意義や今後の課題等について意見を述べました。



△意見を述べるシンポジスト

平成14年度全国公務員レクリエーション共同行事富山地区ソフトボール大会で本学チームが優勝

平成14年度全国公務員レクリエーション共同行事富山地区ソフトボール大会が9月5日（木）に富山県常願寺川公園野球場で開催され、富山県内の9機関10チームが参加して、本学からもA、B2チームが出場しました。

大会当日は、台風の時期でもあり天候が心配されましたが、曇天ながらも時折夏の名残の陽射しが差し込み、暑さを感じながらの試合が行われ、選手達は額に汗をにじませていました。

決勝戦は本格派投手を擁する本学Aチームと北陸財務局富山財務事務所の対戦となりましたが、接戦の末、同点のまま時間切れとなり、大会規定により全選手によるジャンケンが行われた結果、7対2で本学Aチームが2年ぶりの優勝を決めました。



学 内 レ ク リ エ ー シ ョ ン

釣り大会を開催

平成14年度学内レクリエーション釣り大会が、10月5日（土）に富山新港東防波堤周辺において開催されました。

大会当日は、秋には暑いほどの好天にめぐまれ、初心者からこの道数十年の職員など16名が参加し、釣った魚の総重量を競いあいました。

競技での釣果（ちょうか）の魚種は10種類と多彩で、中でもアジ、メジナ、コダイが多く見られ、3時間の制限時間の中で、それぞれが釣場を変えるなど工夫し竿を握りました。

大会の結果、釣歴の豊富な平野さん（経理部）が1,360gと2位に200g以上大きく水をあげ、みごと優勝されました。

なお、成績は次のとおりです。

☆優勝	平野誠一（経理部）	1,360 g
☆準優勝	野沢陽子（人文・理学部）	1,070 g
☆3位	松下義春（経理部）	960 g



立山・室堂秋の散策

平成14年度学内レクリエーション探訪小旅行（室堂周辺秋の散策）が、10月15日（土）に実施されました。

天候が心配された当日は、前夜の雷雨も止み、朝から好天模様となり、行楽に絶好の晴天となりました。今回、48名の参加者が借り上げバスにて9時に大学を出発し、立山アルペン村で途中休憩後、一路立山へ向かいました。

桂台から立山有料道路に入り、曲がりくねった道を進むにつれ、左右に次々展開する立山杉、くっきりとした称名滝の遠景、丁度見頃の鮮やかな赤や黄に色付いた弥陀ヶ原のナナカマド等の紅葉を感嘆の声を上げて眺めながら、11時30分頃室堂ターミナルに到着し、初雪が山峡に残る雄山を背景に記念撮影を行いました。

室堂では、ひんやりとした肌寒い風が吹いており、別世界のような大自然の山岳風景の中、昼食をはさみ3時間余、雄山や浄土山の頂上までの登山、みくりが池温泉の入浴、地獄谷巡りや高山植物の鑑賞等、参加者は家族や友人同士で、各々自由な散策を満喫しました。



△室堂バスターミナルでの記念撮影

硬式庭球大会を開催

平成14年度学内レクリエーション硬式庭球大会が、10月19日（土）に全面改修された本学テニスコートにおいて開催され、約30名の参加がありました。

大会は、部局対抗のダブルス3組による団体戦で実施され、ダブルス3組中に男女混合ダブルスを1組含める試合形式が採られました。

この大会は、日頃からテニスにしている多くの職員が練習の成果を披露する機会となっており、それぞれが素晴らしいプレーで試合が展開され、中でも女子職員の上達ぶりに周囲から、温かい歓声がかけていました。

試合の結果、事務局が2年連続の優勝を飾りました。

なお、試合結果は次のとおりです。

- ☆優勝 事務局チーム
- ☆準優勝 教育学部・人文学部チーム
- ☆3位 理学部チーム



△優勝チームへのトロフィー授与

バドミントン大会を開催

平成14年度学内レクリエーションバドミントン大会が10月26日（土）に本学第一体育館で開催され、参加5チームによる総当たりリーグ戦の結果、教育学部チームが昨年に引き続いて優勝しました。

この大会は、昼休みなどにバドミントンを楽しんでいる職員が、日頃の練習成果を披露する絶好の場となっており、参加チームは少ないが、各参加者の技術力は高く、接戦の連続となりました。

なお、試合結果は次のとおりです。

- ☆優 勝 教育学部チーム
- ☆準優勝 工学部チーム
- ☆3 位 総務部・経理部チーム



(海) (外) (渡) (航) (者)

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡航先国	目 的	期 間
外国出張	工学部	助教授	佐藤 雅弘	ド イ ツ	2002 IEEE国際超音波シンポジウムに出席，研究発表	14. 10. 6 ∩ 14. 10. 13
	経済学部	助教授	馬 駿	中 国	現地の労働就業に関する調査	14. 10. 9 ∩ 14. 10. 18
	理学部	教 授	平山 実	韓 国	「Skyrme模型とFaddeev模型」に関する研究打合せ	14. 10. 14 ∩ 14. 10. 18
	経済学部	教 授	浅井 尚子	ニュー・ジーランド	自動車事故と救済制度に関する資料収集及び調査	14. 10. 17 ∩ 14. 10. 31
	工学部	助教授	山口 昌樹	アメリカ合衆国	IEEE（米国電気電子学会）生体医工学国際会議に出席	14. 10. 23 ∩ 14. 10. 29
海外研修	教育学部	教 授	諸岡 晴美	ヴ ィ エ ト ナ ム	アパレル，布地，刺繍工場の視察と市場調査	14. 10. 2 ∩ 14. 10. 6
	経済学部	助教授	内田 康郎	韓 国	江原大学における研究成果報告会，討論会に出席	14. 10. 6 ∩ 14. 10. 13
	人文学部	助教授	大西 宏治	アメリカ合衆国	全米地理教育学会に出席，情報収集	14. 10. 15 ∩ 14. 10. 21
	理学部	教 授	廣岡 公夫	韓 国	住居址焼成遺構の考古地磁気試料の収集	14. 10. 28 ∩ 14. 11. 2



工学部 森田教授が（社）精密工学会より高城賞を受賞

10月3日（木）、森田 昇工学部教授の物質表面／表層のセンシングに関する研究が精密工学の進歩及び精密工業の発展に寄与したとして、社団法人 精密工学会より「高城賞」を受賞されました。

森田教授は工学部機械知能システム工学科所属。専門は精密加工学。



本 部

- | | |
|---|--|
| <p>10月1日 事務局連絡会
 入学試験実施委員会</p> <p>3日 中部地区国立大学等研究協力課長連絡会
 (於：金沢大学)</p> <p>3日～</p> <p>4日 全国国立大学学生指導担当副学長・学生部長協議会 (於：ホテルメトロポリタン盛岡)</p> <p>4日 夜間教育実施国立大学事務局長会議 (於：KKRホテル東京)</p> <p>5日 臨時東海・北陸地区国立大学長会議 (於：名古屋・都市センター)</p> <p>7日 事務局連絡会</p> <p>8日 国立大学協会第3常置委員会 (於：国立大学協会)</p> <p>10日 放送大学・英会話研修開講式</p> <p>10日～</p> <p>14日 まなびピア石川2002</p> <p>12日 富山地域留学生交流事業「富山の自然探訪」</p> <p>15日 留学生センター日本語研修コース開講式
 運営会議</p> <p>16日 組織運営体制の整備に関する検討委員会</p> <p>17日 学生生活委員会</p> <p>17日～</p> <p>18日 国立大学等保健管理施設協議会理事会・総会 (於：国立オリンピック記念青少年総合</p> | <p>センター)</p> <p>18日 部局長会議
 評議会</p> <p>21日 事務局連絡会</p> <p>北陸地区国立大学長懇談会 (於：金沢大学)
 安全管理委員会</p> <p>22日 新大学構想協議会 (於：富山医科薬科大学)
 事務協議会</p> <p>24日～</p> <p>25日 国立大学学生関係部長 (相当職) 協議会
 (於：水戸プラザホテル)</p> <p>25日 再編・統合検討委員会
 高校長協会との懇談会
 環境保全と化学物質の取り扱い (P R T P
 制度) に係る講演会</p> <p>26日～</p> <p>27日 日本留学フェア (於：タイ・バンコク市)</p> <p>28日 事務局連絡会</p> <p>29日 発明審査専門委員会</p> <p>30日 入試関係合同委員会
 入学試験実施委員会</p> <p>31日～</p> <p>11月1日 大学運営研究セミナー (於：学術総合センター)
 東海・北陸地区国立大学事務局長会議 (於：KKRホテル名古屋)</p> |
|---|--|

教 養 教 育

10月16日 教養教育企画専門委員会

人 文 学 部

10月1日 学部将来計画委員会
 2日 学部自己点検評価委員会
 4日 人文科学研究科小委員会
 9日 学部教務委員会
 人文科学研究科委員会
 教授会
 15日 学部人事委員会
 16日 平成15年度富山大学人文学部第3学年次編
 入学選抜検査
 18日 学部教務委員会
 22日 教授会
 23日 学部入学試験委員会
 24日～
 25日 国立17大学人文系学部長会議（於：信州大
 学）
 30日 学部将来計画委員会
 入学試験委員会

教 育 学 部

10月2日 学部入学試験委員会
 配分比率評価委員会
 研究科小委員会
 紀要編集委員会
 学部将来構想委員会
 教育学部及び附属学校園共同研究プロジェ
 クト研究大会担当係長打合せ
 3日 学部国際交流委員会
 4日 学部教務委員会
 7日 学部将来構想委員会
 8日 教育学部及び附属学校園共同研究プロジェ
 クト研究大会部会協議打合せ
 9日 教育方法改善委員会
 研究科小委員会
 研究科委員会
 教授会
 人事教授会
 10日 日本教育大学協会北陸地区音楽部門研究協

議会（於：富山大学）

11日 日本教育大学協会北陸地区会学長・副学長・
学部長・学部教員合同会議（於：信州大学）
附属中学校前期終業式15日 フルブライト・メモリアル基金米国教育者
来学16日 学部自己点検評価委員会
米国ケンタッキー州西部マーレイ地区教
員来学

17日 附属中学校後期始業式

17日～

18日 全国国立大学附属学校連盟副校園長会研
究会、日本教育大学協会附属学校連絡協議
会副校園長分科会（於：上越教育大学教育
学部附属学校園）18日 日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議
会（於：KKRホテル東京）

19日 附属養護学校研究発表会

22日 学部将来構想委員会

23日 大学院教育学研究科入学試験

24日～

25日 北信越地区国立大学附属学校連盟副校園長
会、日本教育大学協会全国国立大学附属学
校連盟、全国国立大学附属学校PTA連合
会北信越地区協議会（於：新潟大学教育人
間科学部附属学校園）26日 全国国立大学教育学部長会議（於：広島大
学）

28日 学部将来構想委員会

29日 教育学部及び附属学校園共同研究プロジェ
クト研究発表会

30日 研究科小委員会

研究科委員会

教授会（臨時）

紀要編集委員会

就職ガイダンス

経 済 学 部

10月2日 平成14年度物品定期検査

9日 平成15年度大学院経済学研究科（修士課程）
入学試験
合格者選考委員会
人事教授会

研究科委員会

教授会

- 10日 学部自己点検評価委員会
 15日 学部教務委員会
 17日 学部自己点検評価委員会
 将来構想等検討委員会・学部教務委員会合同会議
 将来構想等検討委員会
 21日 夜間主コース対象就職ガイダンス
 23日 学部自己点検評価委員会
 24日 3年生対象第2回就職ガイダンス
 28日 海外からの研究生へのオリエンテーション

工 学 部

- 10月2日 工場運営委員会
 7日 学部運営委員会
 9日 教授会
 専任教授会
 理工学研究科博士前期課程工学部会
 理工学研究科博士後期課程部会
 30日 学部自己点検評価委員会
 31日 学部運営委員会
 大学院部会拡大WG（理・工）

理 学 部

- 10月2日 学部教務委員会
 新実験破水経路に関する講習会
 3日 物品定期検査
 4日 学部施設委員会
 学部法人化対応委員会WG
 9日 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会
 教授会
 人事教授会
 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会
 専任教授会
 大学院理工学研究科博士後期課程理学部会
 10日 学科長会議
 学部法人化対応委員会WG
 11日 出前講義（富山県立富山東高等学校）
 16日 学部法人化対応委員会WG
 学部教務委員会
 17日 国立22大学理学部長会議（於：KKRホテル東京）
 18日 国立大学理学部長会議（於：KKRホテル東京）
 22日 学部安全管理委員会排水安全専門委員会
 23日 学部就職指導委員会
 法人化対応説明会
 24日 学部安全管理委員会組換えDNA実験安全
 専門委員会
 30日 学部安全管理委員会排水安全専門委員会
 学部入試委員会
 学部教務委員会

地域共同研究センター

- 10月1日 企業訪問（燐化学工業（株））
 4日 企業訪問（YKK（株）黒部事業所）
 10日 国立大学地域共同研究センター会議（於：
 京都工芸繊維大学）
 11日 運営委員会（持ち回り）
 28日 運営委員会（持ち回り）

水素同位体科学研究センター

- 10月1日 人事に関する運営委員会

極東地域研究センター

- 10月17日 極東地域研究セミナー
 30日 運営委員会

《訂正》

第452号18ページの「教育職俸給表（三）」に誤りがありました。

正しくは、下表のとおりです。

お詫びして訂正します。

教育職俸給表(三)

職員 の区 分	職務 の級 号 俸	1 級	2 級	3 級	4 級
		俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	1	円 —	円 —	円 273,000	円 404,800
	2	148,100	163,700	286,700	413,700
	3	154,400	172,000	300,700	422,200
	4	161,600	181,100	314,600	430,700
	5	169,500	192,000	328,200	439,000
	6	178,600	199,100	341,500	446,800
	7	188,600	206,300	351,800	454,500
	8	195,400	214,000	362,000	461,800
	9	202,200	222,100	372,400	468,800
	10	209,000	233,300	381,200	475,600
	11	215,900	245,100	389,700	482,600
	12	223,000	257,000	397,800	489,800
	13	230,500	269,600	405,900	496,300
	14	237,900	282,500	413,500	501,500
	15	245,000	295,800	421,000	505,500
再任 職員 以外 の 職員	16	252,100	309,500	428,300	
	17	258,700	323,100	435,100	
	18	265,200	335,800	441,700	
	19	271,700	345,800	448,300	
	20	277,600	355,700	454,200	
	21	282,900	365,700	459,600	
	22	287,900	374,200	464,300	
	23	292,600	382,400	468,500	
	24	296,800	390,100	472,300	
	25	300,200	397,000	475,400	
	26	303,500	403,400	478,300	
	27	306,900	409,100		
	28	309,300	414,400		
	29	311,100	419,300		
	30	312,900	424,100		
	31	314,600	428,800		
	32	316,400	432,900		
	33	318,200	437,100		
	34		441,000		
	35		444,600		
	36		447,100		
再任 職員		229,100	283,400	351,000	425,800

備考(一) この表は、中学校、小学校、幼稚園及びこれらに準ずるもので人事院の指定するものに勤務する校長、園長、教頭、教諭、養護教諭、助教諭その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

(二) この表の適用を受ける職員のうち、その職務の級が3級である職員で人事院規則で定めるものの俸給月額は、この表の額に8,000円をそれぞれ加算した額とする。



△秋の大学キャンパス

編集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL. (076) 445-6029 FAX. (076) 445-6033
印刷所 あけぼの企画(株) 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL. (076) 424-1755 FAX. (076) 423-8899